



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東  
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 岡田 夏至 (TEL) 03-6911-0550  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,958	5.5	61	△56.3	92	△39.9	32	△52.6
2022年3月期第1四半期	4,702	1.1	141	△26.3	153	△25.8	69	△47.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 59百万円(△16.5%) 2022年3月期第1四半期 71百万円(△33.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 2.45	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	5.01	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,780	6,149	69.5
2022年3月期	8,645	6,226	71.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,102百万円 2022年3月期 6,187百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,400	△0.5	341	7.8	351	2.7	257	22.8	19.09
通期	18,900	0.3	598	11.5	646	7.0	415	19.4	30.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	15,145,175株	2022年3月期	15,145,175株
2023年3月期1Q	1,680,613株	2022年3月期	1,680,613株
2023年3月期1Q	13,464,561株	2022年3月期1Q	13,884,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び実績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症防止対策と社会経済活動の活性化の両立に向けた取組みが進む一方、ウクライナ情勢等の影響により原材料価格が高騰しインフレが進むなど、景気の先行きは不透明感が増しました。わが国の経済においても、円安の継続基調に加え、食料品や日用品、ガソリンをはじめとする石油関連製品や電気料金などの生活に欠くことのできない幅広い品目において価格が上昇するなど、将来の予測が困難な状況にあります。

このような状況の下、当社グループにつきましては、世界的な脱コロナへの動きを受けアスモトレーディング事業、ASMO CATERING (HK) 事業では好調に推移いたしました。感染リスクが高い高齢者との接触機会の多い介護業界では今もなお強い警戒感が残っており、特にアスモ介護サービス事業においては引き続き慎重な事業運営が求められています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,958百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益61百万円（前年同四半期比56.3%減）、経常利益92百万円（前年同四半期比39.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、32百万円（前年同四半期比52.6%減）となりました。

売上高の増加は、主にコロナ禍において低迷していたアスモトレーディング事業、及びASMO CATERING (HK) 事業における業績の回復によるものであります。営業利益、経常利益の減少は、原材料費の上昇と円安基調の影響を受けたアスモトレーディング事業における売上原価率の上昇とアスモフードサービス事業における人件費の増加、及びアスモ介護サービス事業における新規施設開設に伴う費用の発生によるものであります。今後におきましては、コロナ禍前の水準への業績回復に向け、グループ一丸となって邁進してまいります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸入、食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスモライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営、食品加工販売
その他 (ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営 ※事業を休止中

## ① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、2022年3月の「蔓延防止等重点措置」の解除と大型連休により外食需要が好転してきた中、アメリカやオーストラリア等の輸入牛肉に係る供給の不安定・価格高騰に伴い、当社が取り扱うメキシコ産牛肉の需要が高まり、当該商材の取扱量が増加いたしました。また、ブラジル産鶏肉の国内相場上昇に伴い、需要に合わせた調達を行った結果、販売量が増加し販売価格の高騰も影響したことによって売上高が大幅に増加いたしました。一方で、仕入価格の高騰による影響を受け原価率が上昇したことに加え、原油高や物価の上昇などを要因とする販管費の増加により営業利益は前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,139百万円（前年同四半期比41.7%増）、セグメント利益（営業利益）は27百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。

今後も引き続き既存取引先への販売強化と新規開拓に取り組むとともに、事業をとりまく国内外の動向を注視しつつ、メキシコ産商材を中心に価格を含めた商品の優位性をアピールすることで販路の拡大を目指し業績の向上に注力いたします。

## ② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、かねてより取り組んでおります新型コロナウイルス感染症に対する安全衛生対応に加え、原材料費や物流費の高騰による原価管理が大きな課題となっております。現場における食材費、資材費の管理意識を高めるべく、会議や研修を通じて積極的な意見交換や、提供食数管理システムでリアルタイムに食材費、原価率を確認する方法を用いることで使用量を算出し、食料量の適正值や適正在庫を随時追求してまいりました。また、原価を抑えるために、生野菜を冷凍野菜に移行するなどの工夫や、総合食品メーカーとの取引を推進するなどの方策を採ると共に、受託先の施設に対しては献立の内容について交渉を行うなどの対策を講じることで収益への影響を抑えてまいりました。

一方で、今後の提供食数の増加に備え人材を確保したことにより人件費は増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,877百万円（前年同四半期比1.0%減）、セグメント利益（営業利益）は49百万円（前年同四半期比59.6%減）となりました。また、受託施設件数については、当第1四半期連結会計期間末現在、252施設（前年同四半期末は253施設）となりました。

今後におきましては、不安定な状況の中においてもしっかりと足元を見据え、お客様には安全でおいしいお食事を提供させていただくとともに、アフターコロナを見据えた動きとして新規受託先の開拓に注力し積極的な事業展開を行ってまいります。

## ③ アスモ介護サービス事業

介護業界全体としては、恒常的な人手不足と、それに伴う人件費の上昇に加え、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響によるご利用者様の減少で、足元・先行きとも厳しい状況にあります。そのような状況の中ではありますが、東京都小平市に2022年5月に当社運営7施設目となる有料老人ホームを開設致しました。当第1四半期会計期間末現在でのご入居者様数は当初の予定通りに推移しておりますが、まだ利益への貢献には至っていない状況です。

これにより当第1四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所36事業所（前年同四半期末は37事業所）、居宅介護支援事業所12事業所（前年同四半期末は12事業所）となり、支援させていただいておりますご利用者様（※）は1,850名（前年同四半期末は1,996名）となりました。また、有料老人ホーム7施設（前年同四半期末は6施設）のご入居者様は317名（前年同四半期末は313名）となりました。（※）介護タクシーでの介護保険利用者を除く

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,393百万円（前年同四半期比4.1%減）、セグメント利益（営業利益）は34百万円（前年同四半期比45.1%減）となりました。

今後におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着き、回復が見込まれる介護需要を取り込むことに注力してまいります。また、職員の定着率向上に向けた取り組みと積極的な新規採用により十分な職員数を確保していることを強みとして、介護サービスの更なる質の向上を図ってまいります。

## ④ ASMO CATERING (HK) 事業

香港では、2022年4月以降、新型コロナウイルス感染症によるレストランに対する規制が緩和されましたが、6月からはレストランやあらゆる商業施設に入る際にワクチン3回目接種証明書の提示を求められる制度が始まりました。このような状況の下、一時は下降の一途をたどっていた感染者数が再び上昇する傾向を受け、街中の人出が順調に回復基調に乗るといったところまでは至っておりません。香港は中国本土と比較して医療体制もある程度整っているため、以前のように感染者が上昇するとあらゆる規制をかけるという状況には至っておらず、これまでのような大規模な行動制限措置により業績が大きく影響を受ける可能性は低いと判断しております。

また、高騰する食材価格に対応すべく、それぞれの店舗業態においてこまめな価格改定、商品内容の見直しを実施しており、メニュー内容の見直しも含め10%から15%程度の値上げを実施することで利益を確保してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は547百万円（前年同四半期比24.0%増）、セグメント利益（営業利益）は5百万円（前年同四半期はセグメント損失4百万円）となりました。

今後におきましては、業績回復の兆しを慎重に捉え、業績が安定的に推移している食品加工販売部門を軸に引き続き業績の向上に努めてまいります。

## ⑤ その他の事業

その他セグメントに含めておりましたサーバントラスト信託株式会社につきましては、基幹事業分野への経営資源の集中を図ることを目的として当社が保有する全株式を2022年5月27日付で譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として連結の範囲から除外しております。

また、その他セグメントに含めておりますASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITEDは2019年3月を期末とする連結会計年度以降、事業を休止しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は0百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が282百万円、受取手形及び売掛金が123百万円、商品が107百万円増加し、未収入金が342百万円、繰延税金資産が46百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が165百万円、短期借入金が20百万円、未払金が79百万円、仮受金が29百万円増加し、未払費用が13百万円、賞与引当金が89百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が101万円減少し、為替換算調整勘定が15百万円、非支配株主持分が9百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.5%（前連結会計年度末は71.6%）となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響による一部の事業の売上減少や費用増加により前年同四半期に比べて利益が減少しておりますが、当社グループの財政状態に大きな影響を与えるものではございません。また、納税、賞与、配当等による現金及び預金の減少はあるものの、関係会社株式の譲渡代金の受領等により、前連結会計年度末と比較して現金及び預金は増加しております。

資本の財源につきましては、当社グループの運転資金・設備投資について、一部連結子会社で一時的な借入を行うことがあります。基本的には自己資金により充当しております。当第1四半期連結会計期間末の有利子負債残高は、短期借入金36百万円とリース債務159百万円の合計196百万円であり、前連結会計年度末と比較して8百万円増加しております。

現金及び預金の当第1四半期連結会計期間末残高は4,900百万円であり、資金の流動性は十分に確保できており、小規模ベースのM&Aや隣接事業への拡大についても対応できる水準であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想及び配当予想は、2022年5月13日に公表いたしました予想に変更はありませんが、日本経済及び世界経済に多大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症の動向によっては、経済状況や事業環境の変化等様々な要因により業績が予想と異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症の業績への影響については、可能な限り上記の業績見通しに織り込んでおりますが、今後の動向の変化に応じて適時に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,617,956	4,900,429
受取手形及び売掛金	1,929,608	2,053,085
商品	284,667	391,747
貯蔵品	12,878	12,459
その他	636,929	350,266
貸倒引当金	△1,271	△928
流動資産合計	7,480,768	7,707,061
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	197,674	185,984
有形固定資産合計	197,674	185,984
無形固定資産		
その他	19,716	17,429
無形固定資産合計	19,716	17,429
投資その他の資産		
その他	1,445,812	1,384,969
貸倒引当金	△498,319	△514,675
投資その他の資産合計	947,493	870,294
固定資産合計	1,164,884	1,073,708
資産合計	8,645,652	8,780,769

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	531,571	696,914
短期借入金	16,840	36,860
未払法人税等	37,248	50,718
賞与引当金	216,930	127,697
その他	1,261,098	1,370,289
流動負債合計	2,063,689	2,282,479
固定負債		
退職給付に係る負債	232,052	238,327
その他	123,722	110,267
固定負債合計	355,775	348,594
負債合計	2,419,464	2,631,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	4,080,591	3,978,872
自己株式	△340,870	△340,870
株主資本合計	6,062,993	5,961,274
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	376	117
為替換算調整勘定	126,904	142,642
退職給付に係る調整累計額	△2,415	△1,811
その他の包括利益累計額合計	124,865	140,948
非支配株主持分	38,328	47,473
純資産合計	6,226,188	6,149,695
負債純資産合計	8,645,652	8,780,769



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,702,626	4,958,999
売上原価	3,802,954	4,100,980
売上総利益	899,672	858,019
販売費及び一般管理費	758,397	796,240
営業利益	141,274	61,779
営業外収益		
受取利息	1,671	1,926
為替差益	175	20,353
助成金収入	9,858	13,123
その他	2,104	525
営業外収益合計	13,809	35,928
営業外費用		
支払利息	1,026	834
貸倒引当金繰入額	85	4,521
その他	416	21
営業外費用合計	1,527	5,377
経常利益	153,556	92,330
特別利益		
関係会社株式売却益	—	26,266
特別利益合計	—	26,266
税金等調整前四半期純利益	153,556	118,596
法人税、住民税及び事業税	8,657	31,960
法人税等調整額	75,806	47,050
法人税等合計	84,463	79,010
四半期純利益	69,092	39,586
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△410	6,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,503	32,926

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	69,092	39,586
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△305	△258
為替換算調整勘定	525	20,048
退職給付に係る調整額	2,559	603
その他の包括利益合計	2,779	20,392
四半期包括利益	71,871	59,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,169	49,008
非支配株主に係る四半期包括利益	△297	10,970

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社株式の譲渡)

当社は、基幹事業分野への経営資源の集中を図ることを目的として、当社が保有する連結子会社であるサーバントラスト信託株式会社の全株式を株式会社日税不動産情報センターに譲渡することを2022年3月31日付の取締役会において決議し、2022年5月27日付で譲渡いたしました。本株式譲渡に伴い、当第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として、当該会社を連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,194	803,703	1,896,121	1,453,398	441,997	4,596,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,433	61,077	—	—	70,511
計	1,194	813,137	1,957,198	1,453,398	441,997	4,666,926
セグメント利益又は損失(△)	△61,083	34,998	121,938	62,544	△4,427	153,970

(単位:千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	106,211	4,702,626	—	4,702,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	70,511	△70,511	—
計	106,211	4,773,137	△70,511	4,702,626
セグメント利益又は損失(△)	△12,764	141,206	67	141,274

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理型信託事業および少額短期保険事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	153,970
「その他」の区分の損失(△)	△12,764
セグメント間取引消去	67
四半期連結損益計算書の営業利益	141,274

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	アスモ 事業	アスモトレ ディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,194	1,139,249	1,877,347	1,393,308	547,900	4,958,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,804	61,316	—	—	70,120
計	1,194	1,148,053	1,938,664	1,393,308	547,900	5,029,120
セグメント利益又は損失(△)	△55,303	27,892	49,238	34,336	5,711	61,876

(単位：千円)

	その他 (注)1、2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	—	4,958,999	—	4,958,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	70,120	△70,120	—
計	—	5,029,120	△70,120	4,958,999
セグメント利益又は損失(△)	△111	61,764	14	61,779

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント(ASMO CATERING (TAIWAN)事業)であり、現在当該事業を休止しております。

(注) 2 「その他」を形成していた連結子会社サーバントラスト信託株式会社の管理型信託事業について、当社が保有する同社の全株式を2022年5月27日付で譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として連結の範囲から除外しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	61,876
「その他」の区分の損失(△)	△111
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の営業利益	61,779

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社の売上高は、主に顧客との契約から認識された収益であり、当社の報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第1四半期累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
食肉販売	—	689,500	—	—	—	689,500
加工商品の販売	—	114,203	—	—	—	114,203
給食提供サービス	—	—	1,896,121	—	—	1,896,121
介護サービス	—	—	—	1,245,196	—	1,245,196
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	96,932	—	96,932
飲食店舗（香港）	—	—	—	—	302,699	302,699
食品加工販売（香港）	—	—	—	—	129,258	129,258
その他	—	—	—	25,858	10,039	35,898
顧客との契約から生じる収益	—	803,703	1,896,121	1,367,987	441,997	4,509,809
その他の収益	1,194	—	—	85,411	—	86,605
外部顧客への売上高	1,194	803,703	1,896,121	1,453,398	441,997	4,596,415

	その他 (注)	合計
食肉販売	—	689,500
加工商品の販売	—	114,203
給食提供サービス	—	1,896,121
介護サービス	—	1,245,196
運営する介護施設でのサービス	—	96,932
飲食店舗（香港）	—	302,699
食品加工販売（香港）	—	129,258
その他	5,134	41,032
顧客との契約から生じる収益	5,134	4,514,944
その他の収益	101,076	187,682
外部顧客への売上高	106,211	4,702,626

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理型信託事業および少額短期保険事業を含んでおります。

当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	計
食肉販売	—	1,032,769	—	—	—	1,032,769
加工商品の販売	—	106,479	—	—	—	106,479
給食提供サービス	—	—	1,877,347	—	—	1,877,347
介護サービス	—	—	—	1,182,131	—	1,182,131
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	91,187	—	91,187
飲食店舗(香港)	—	—	—	—	366,762	366,762
食品加工販売(香港)	—	—	—	—	169,761	169,761
その他	—	—	—	37,621	11,376	48,998
顧客との契約から生じる収益	—	1,139,249	1,877,347	1,310,940	547,900	4,875,437
その他の収益	1,194	—	—	82,367	—	83,562
外部顧客への売上高	1,194	1,139,249	1,877,347	1,393,308	547,900	4,958,999

	その他(注)	合計
食肉販売	—	1,032,769
加工商品の販売	—	106,479
給食提供サービス	—	1,877,347
介護サービス	—	1,182,131
運営する介護施設でのサービス	—	91,187
飲食店舗(香港)	—	366,762
食品加工販売(香港)	—	169,761
その他	—	48,998
顧客との契約から生じる収益	—	4,875,437
その他の収益	—	83,562
外部顧客への売上高	—	4,958,999

(注) 「その他」の区分では、当該区分に含まれる各事業セグメントにおける以下の要因により、当第1四半期連結累計期間での売上高が生じておりません。

- ・少額短期保険事業：アスモ少額短期保険株式会社の全株式を2022年3月30日付で譲渡したことに伴い、前連結会計年度末において連結の範囲から除外しております。
- ・管理型信託事業：サーバンtrust信託株式会社の全株式を2022年5月27日付で譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として連結の範囲から除外しております。
- ・ASMO CATERING (TAIWAN) 事業：現在当該事業を休止しております。